

# 子どもよ育て地域で家庭で

## 親の養護に欠けた児童に里親制度



発行所  
社会福祉法人  
大阪市城東区社会福祉協議会  
発行人  
駒井 信 義  
編集  
広報福祉部会  
大阪市城東区中央3丁目4番29号  
城東区役所内  
電話 (932) 1351  
題字は駒井区社協会長



家庭に恵まれない児童の問題については、児童相談所や福祉事務所が窓口となってその相談指導に当たっているが、その結果必要ときは乳児院、養護施設に入所させたり、あるいは里親に養育を委託するなどの措置がとられています。

一般市民が、こうした親の養護に欠けた児童を自分の家庭に引き取って、暖かい愛情と和やかな家庭的雰囲気の中で養育しようというこの里親制度は、在宅福祉活動が強調される今日、今後とも注目される制度といえるでしょう。

親の外出、離婚、病気、里親」と、養子縁組を前など、いろいろな理由で 提とした「養子里親」と家庭で育てられない子ども の二種類があります。

もたちを自分の家庭に引き取り、親代わりになつて育てる人を里親と呼ん でいます。

里親制度には、子ども が親のもとに引き取られ るまでの一定期間、親に 代わって養育する「養育 件・養育里親三十九件」

親の行方不明、離婚、長期入院、死亡などの理由によって養護を必要とする大阪の子どもたちのうち、約二千人が乳児院や養護施設で生活しています。

そうした子どもたちへの対応が施設か里親かという二者択一的な考え方では、今日の複雑多様な子どもをめぐる問題の対応は難しく、よりよい養護形態が模索され始めています。

このような状況の中で、地域社会での自由で、集団的な家庭生活ができる「ふれあいの家」がうまれました。(城東区関目一四一四二二九三三―七二六九)

子どもたちは児童相談所を通じて委託されるわけですが、入居時に実親あるいは祖父母と引き取りの時期、面会の頻度などの話し合います。

この約束を子どもたちはひたすら待ち、家庭復

私たちが家族は昭和五十八年からここに生活し、これまで延べ二十五名の子どもたちを受け入れました。「ふれあいの家」にいる期間は子どもによりさまさまで、長期の子どもで一年十ヶ月、短期で一週間。なかには三度も繰り返し入居した子どももいました。

子どもたちは児童相談所を通じて委託されるわけですが、入居時に実親あるいは祖父母と引き取りの時期、面会の頻度などの話し合います。

この約束を子どもたちはひたすら待ち、家庭復

おかげさまで、これまでに二十余名の子どもたち全員が家庭復帰でき、安定した親子関係の中で生活しています。

引き取った親たちからは、年に何度か手紙や電話で、「引き取って良かった。子どもに元気づけられ、また、この子を生かすの励みにしている」ときかされるたびに里親としての満足感と同時に、今預かっている子どもたち

乳幼児期の子どもでもあれば保育所の送り迎えのほんのわずかな時間を、そして、学齢児童であれば働く親が帰るまでの短時間、面倒をみてもらえたら……。施設に入っている子どもたちの中には、そのような小さなことかから施設に入っている子どもがいます。

里親は、健康で子ども

昭和二十二年に始まった国民たすけあい共同募金運動は、今年で満四十年を迎えました。

「わかちあう幸せー赤い羽根共同募金」をスロガンに、十月一日から十二月三十一日まで、全国一斉に募金運動がくりひろげられています。当城東区においても、地域振興会婦人部が中心となつての街頭募金や戸別学校募金など、区内全域にわたり募金運動を展開しているところです。

さて、当城東区は、毎年、市内(二十六区)でトップの募金成績をあげていることは、とりもなおさず区民の皆様方の共同募金運動に対するご理解とご協力によるものと関係者一同深く感謝いたしております。

今年も、昨年に増すあなたのご協力を切にお願いいたします。

### 報告 「ふれあいの家」

里親 志村 弘

私たちが家族は昭和五十八年からここに生活し、これまで延べ二十五名の子どもたちを受け入れました。「ふれあいの家」にいる期間は子どもによりさまさまで、長期の子どもで一年十ヶ月、短期で一週間。なかには三度も繰り返し入居した子どももいました。

子どもたちは児童相談所を通じて委託されるわけですが、入居時に実親あるいは祖父母と引き取りの時期、面会の頻度などの話し合います。

この約束を子どもたちはひたすら待ち、家庭復

高齡化社会の急速な進展、大都市において特に顕著な核家族化の中で、社会福祉の立場から解決すべき問題も多様化し、深刻化してきております。

また従前のように限られた人々の問題でなく、全ての市民の問題として考えていかねばならなくなつてきております。

こうした社会経済の情勢の変化の下に、福祉の分野で大きな変革が行われつつあり、「地域福祉」や「在宅福祉」ということが、施策の

基本として推進されるようになり、地域住民相互の心のふれあいや助けあいによって、みんなが住みよい福祉の町づくりの上に、真の福祉が築きあげられることが認識されるようになり、今後、社会福祉協議会の役割はますます重要になっていくものと思われま

す。

そして、市社協、校下社協の活動はもとより、これからは、全社協の在宅福祉推進構想にもみ

に一日も早く、子どもの夢を実現させたいと願っている話で、全く腹立たしい思いにかられます。

そこで、私は受け入れた日家庭復帰への準備開始日と考え、「子どもの親はあなたですよ。引き取りの約束を信じて子どもはがんばっています」と実親に訴え続けるわけ

が嫌いでなかったら、だれにでもできることだと思えます。堅く考える必要もありません。子どもの養育の最終責任は、実親にあるということ。他人ごとでない、いつ自分もその立場におかれるか分からない不安定な社会状況の中で、明日の社会を担う子どもたちを地域の中で育てられたらどんなに住みよい社会になるでしょう。

大阪市社協 佐藤 欣三

大阪市社協 協議会事務局長

大阪市社協 協議会事務局長 佐藤 欣三

面々の課題 種々の課題 種々の課題

大阪市社協 協議会事務局長 佐藤 欣三

面々の課題 種々の課題 種々の課題

大阪市社協 協議会事務局長 佐藤 欣三

面々の課題 種々の課題 種々の課題

大阪市社協 協議会事務局長 佐藤 欣三

面々の課題 種々の課題 種々の課題

大阪市社協 協議会事務局長 佐藤 欣三

面々の課題 種々の課題 種々の課題

大阪市社協 協議会事務局長 佐藤 欣三

面々の課題 種々の課題 種々の課題

大阪市社協 協議会事務局長 佐藤 欣三

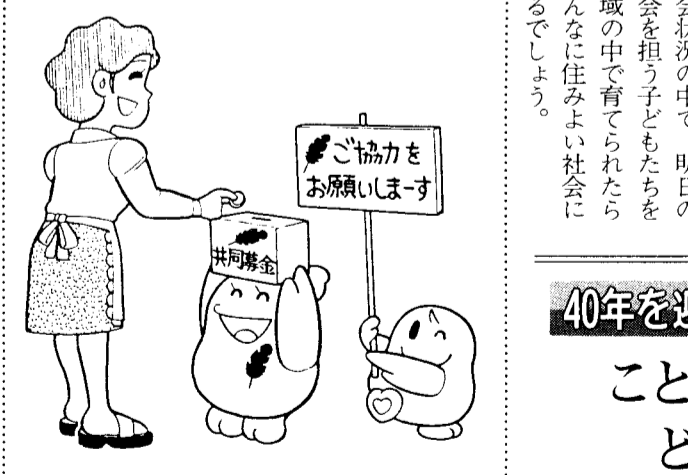
面々の課題 種々の課題 種々の課題

大阪市社協 協議会事務局長 佐藤 欣三

面々の課題 種々の課題 種々の課題

40年を迎えた共同募金運動

ことしもどうぞよろしく



# 私たち家庭奉仕員 頑張ってます

## 城東区老人福祉センターから

### 8月3日、ヘルパーの林さん ひとり暮らしのKさん(86)訪問



高齢化・長寿化の進行による後期高齢者人口(七十五歳以上人口)の増加とともに、寝たきりや痴呆等の介護を要する老人は今後も増加することが予想される。しかし、逆に核家族化が進むなかで、介助できる人のいる家庭が少なくなってきた。そして、万が一介護を要する状態になった場合でも、長年住み慣れたところを離れて施設

8月3日、今日は八十八歳になるひとり暮らしのおばあさん(Kさん)宅への訪問日である。ヘルパーの林千賀子さんと午前七時過ぎ城東区老人福祉センターを出発。歩くこと約十五分、とあるアパートの一室に着いた。「こんにちは」と林さんは声をかけ部屋に入る。四畳半の部屋はガスコンロ、冷蔵庫、タンスなど、寝る場所もないくらい。週一回決まって来てくれる林さんは、今では肉親がなくなった布団を「今日

### 8月4日、ヘルパーの小松さん ひとり暮らしのSさん(88)訪問



8月4日、ヘルパーの小松美智子さんと同行し、ひとり暮らしのSさん(88)を訪ねた。Sさんは、今では肉親がなくなった布団を「今日」

近所の人も何か変わって、近所の人とは連絡がとれない。近所の人とは連絡がとれない。近所の人とは連絡がとれない。

老人家庭奉仕員数と訪問ケース数

昭和62年9月1日現在

訪問ケース数(訪問世帯数)	老人家庭奉仕員数
484人(453世帯)	113人
21人(20世帯)	5人

独居・寝たきり老人数

65歳以上	60歳以上
2,862人(1.05%)	2,501人(1.34%)

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

高齢化・長寿化の進行による後期高齢者人口(七十五歳以上人口)の増加とともに、寝たきりや痴呆等の介護を要する老人は今後も増加することが予想される。しかし、逆に核家族化が進むなかで、介助できる人のいる家庭が少なくなってきた。そして、万が一介護を要する状態になった場合でも、長年住み慣れたところを離れて施設



近所の人も何か変わって、近所の人とは連絡がとれない。近所の人とは連絡がとれない。近所の人とは連絡がとれない。

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

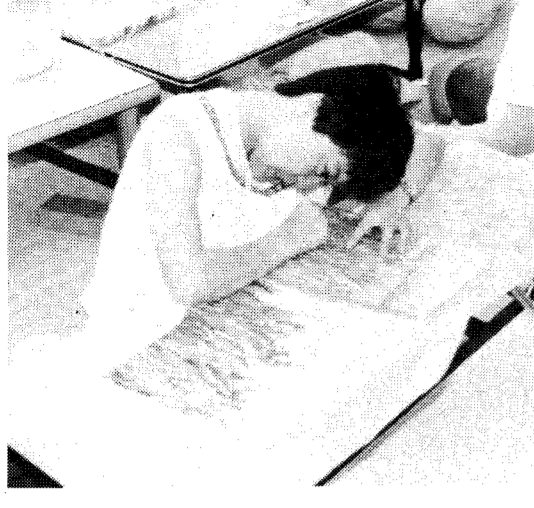
今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人

この夏とくに熱い。サマー・ボランティア

今年307人



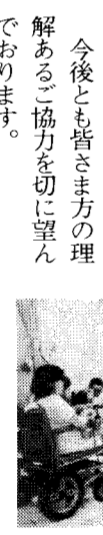
## 障害者を支える ボランティア

栗本 恵美子(通所生)

重度肢体不自由者の生活に支えを。通所生も多数となり、広

「肢体不自由者共同作業所「フォーワーク」」が、

「フォーワーク」が、



「フォーワーク」が、

「フォーワーク」が、

「フォーワーク」が、

「フォーワーク」が、

「フォーワーク」が、



テレビも親も相談

テレビも親も相談

テレビも親も相談

テレビも親も相談

テレビも親も相談

テレビも親も相談

テレビも親も相談

テレビも親も相談

テレビも親も相談

テレビも親も相談

テレビも親も相談

テレビも親も相談

テレビも親も相談

テレビも親も相談

テレビも親も相談

テレビも親も相談

テレビも親も相談

テレビも親も相談

テレビも親も相談

## お気軽に児童委員へ相談を

元日やお通いでもお通いでも

城東区民生児童委員 辻 佐一郎

これら子どもたちの相談相手になることがいかにむずかしいか、考えさせられますが、この難問に、児童委員は従来より増して強力に取り組もうとしています。



児童委員の相談

「この夏とくに熱い。サマー・ボランティア」

「この夏とくに熱い。サマー・ボランティア」

「この夏とくに熱い。サマー・ボランティア」

「この夏とくに熱い。サマー・ボランティア」

「この夏とくに熱い。サマー・ボランティア」

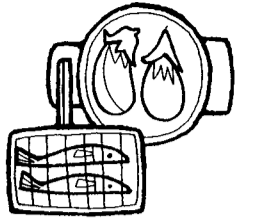
「この夏とくに熱い。サマー・ボランティア」

「この夏とくに熱い。サマー・ボランティア」

「この夏とくに熱い。サマー・ボランティア」

「この夏とくに熱い。サマー・ボランティア」

「この夏とくに熱い。サマー・ボランティア」



# 葦校下単一町会が実施する

## 月1回の「たのしい会食」

佐々木鶴一



七月二十三日、今日の献立は、枝豆入りのヒスイご飯、小なすとオクラをあしらった梅肉あえ、卵焼き、これだけの料理がパックに体裁よく仕上げられてある。

ほかに、小ネギをきざみこんだ豆腐のみそ汁、季節のスイカのひと切れがデザートとして色よく小皿に添えられていて、私も老人の食欲と味覚をかきたてる。

これは、森山自治会長、料理教室の土居さんを中心にボランティアグループの方が早朝から用意されたものである。

団地内の七十歳以上の方を対象にしたこの老人食事サービスを現在、寝たきりの方三名を含む二十四名の方が受けている。この老人食事サービス

# 高齢化社会の防火を考えよう

## 城東消防署

わが国はすでに高齢化社会を迎えているといわれています。

大阪市においても、高齢者人口(六十五歳以上)は約二十七万人で、総人口二百六十四万人の一〇・三パーセントにもなっています。

こうした中、高齢化社会に向けて社会のあらゆる面で新しい対応が望まれています。防火の面でも同様です。

火災による死者の発生率は、年齢が増すにつれて高くなっています。ちなみに、人口十万人あた

りて火災による死者の割合を算出すると、六十五歳以上の高齢者の被災率は、六十四歳以下の人に比べ、実に四倍にもなっています。

なかでも寝たきりの高齢者が火災で亡くなる割合は飛び抜けて高くなっています。

特に寝たきりの高齢者の場合、自分で避難することが難しいだけに、家族だけでなく、近所の人も十分気を付けてあげることがあります。

高齢化社会を迎え、高齢者を火災から守るためには、各家庭で火災予防に努めることはもちろんのこと、万一の場合に備えておくことが大切です。

- (一) 高齢者は、出入口や窓に近い所など逃げやすい所で寝てもいい。
- (二) 高齢者を残して外出するときは、隣近所に声をかけ頼んでおく。
- (三) カートンや寝具類は、防災処理されたものを使う。
- (四) ストープなどの暖房器具は、燃えやすいものからできるだけ離して使う。
- (五) 高層階は、出入口や窓に近い所など逃げやすい所で寝てもいい。

# 各種団体の活動紹介

## ② 城東区PTA協議会

城東区PTA協議会は、区内市立二十四校園PTAをもつて組織し、各校園代表員により構成されています。

本会の目的として、一、区内各単位PTAの連絡を密にし、健全な発展をはかる。二、区内の各種団体、機関、特に青少年

育成団体との連携を密にし、在学青少年の健全育成につとめる。三、市PTA協議会の目的および方針に則り、区内の教育振興につとめる。ことと

現在、総務企画・広報・成人教育・青少年活動の四常置委員会を設け活動しています。

整および年間計画の立案を行うとともに、各単位PTA間並びに会員相互の親睦をはかるため、男子ソフトボール大会、ママさんバレーボール大会、ママさん卓球大会を企画実施しています。

中堅指導者研修事業の一環として、広報委員会では、「読まれるPTA新聞づくり」を中心にテーマを設けて研修会を開催し、成人教育委員会では、成人教育委員会では、人権問題の学習など、会員の生涯教育のために研修会を開催しています。

また、青少年活動委員会

また、青少年活動委員会

また、青少年活動委員会

# 編集後記



今年も余すところあと一カ月、何かと気ぜわしい時期となりました。

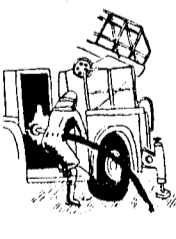
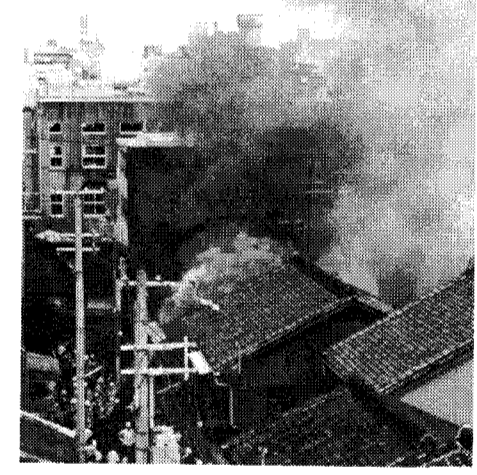
今回、老人や障害者を取り巻く様々な福祉の問題について各方面からご意見や体験談、ありがとうございました。ごさいました。ごさいました。ごさいました。

ごさいました。ごさいました。ごさいました。

ごさいました。ごさいました。ごさいました。

ごさいました。ごさいました。ごさいました。

ごさいました。ごさいました。ごさいました。



# 心配ごと相談所だより

心配ごと相談所は、市民の方々の日常生活上の悩みごとや、問題を解決するために開いております。

●心配ごと相談日  
毎週月・水・金曜日  
午後一時～四時

●場所  
城東区役所 一階  
心配ごと相談室

●法律相談日  
毎月第四金曜日  
午後一時～四時  
(受付は三時まで、ただし一時に相談の順番が抽選します。相談者が多数の場合は、お断りすることがあります)

# 善意銀行だより

- 昭和三十二年四月十一日から昭和三十二年十月三十一日までに次の方々から預託がありました。
- 《金銭預託》  
竹島 重子様 三〇〇、〇〇〇円  
川野 義男様 一四、四五四円  
(財)国際花と緑の博覧会協会審議役 小川 浩一様 三〇、〇〇〇円  
城東中央病院理事長 若松 潔様 一〇〇、〇〇〇円  
学校法人白江学園様 五〇〇、〇〇〇円  
日産サニー大阪販売(株)城東営業所所長 前田 太実様 六、六六一円  
神蔵屋神具店 石原 正子様 二〇、〇〇〇円
- 《物品預託》  
奥田 秀夫様 タオル二〇〇本  
総江東連合婦人部様 セーター・ミニスカート等二七点  
押谷製菓(株)代表取締役 押谷 富造様 和菓子六〇〇個  
仲谷 亮亮様 子供用ノート二〇〇冊

ごさいました。ごさいました。ごさいました。